

令和元(2019)年度栃木県学校給食優良学校等表彰について

このことについて、過日実施いたしました審査会の結果、下記のとおり被表彰校等を決定いたしました。

この表彰は、学校給食実施上、優れた成果をあげてきた学校及び学校給食共同調理場並びに学校給食に特に功労のあった個人及び団体等を、栃木県教育委員会教育長が表彰するものです。

なお、表彰式は12月13日(金)に開催する第14回栃木県健康教育研究大会の中で執り行います。

記

1 金澤 弘美 氏 (真岡市立真岡中学校 栄養教諭)

【功績概要】

昨年度まで市貝町内小中学校4校兼務として本務校の市貝小学校のみならず他の3校においても食育指導を行い、児童生徒に食事や栄養の大切さを指導していた。さらに、食物アレルギーを有する児童生徒に対して、保護者と話し合って専用献立表を作成し、安全性の確保に努めるなど食育推進に精力的である。

また、学校給食を活用した食育推進事業検討委員会や栃木県児童生徒健康管理委員会などの委員、平成30年度全国学校給食研究協議大会における分科会発表者を務める等、本県の学校給食や食育の充実発展のために活躍している。

2 谷田貝 洋子 氏 (小山市立小山城南小学校 栄養教諭)

【功績概要】

児童生徒とのふれあいを大切にし、給食時間の教室訪問や生徒会活動を通して衛生面や食育、食事マナー等の指導を行っている。また、民間委託している調理員をまとめ、きめ細かな調理・衛生指導を行い、安全で美味しい給食を提供している。

勤務する学校のみならず、市の新設校開校に向けた給食準備や市の食物アレルギー対応方針の検討委員、文部科学省「学校給食の衛生管理に関する指導者講習会」の伝達発表者を務める等、県内において栄養教諭・学校栄養職員のリーダー的存在となっている。